

社会で活躍する人財を育成する



阪神まち大学

HANSHIN MACHI COLLEGE

2020-21

«REPORT»

基礎講座

専門家や現場従事者から、社会や実践で必要な知識やスキルを社会人と共に学ぶ！

専門家や現場従事者と参加者を交えたトークセッションやワーク / 全3回

●対象・受講料

実践講座受講生（大学生）**3,000 円/年**（基礎講座＋実践講座の料金）

●学ぶこと

実践講座の活動や社会に出てから必要な知識やスキルを各分野の専門家や現場従事者から学ぶ。

●概要

阪神まち大学に参加する大学生が、実践講座の活動に必要な知識やスキルを専門家や現場従事者から教わり、その後の活動に生かす。

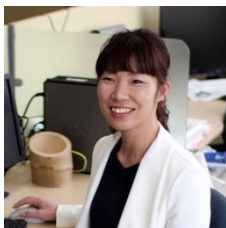
講座内容

11/3（火・祝）19:00～20:30 場所：西宮市市民交流センター B 会議室

【知識編】

第1回 社会活動の意義～地域・社会活動を通じて学ぶこと～

阪神まち大学を始めるにあたり、大学生が地域や社会で活動をする意義について考えます。講師に、神戸大学大学院人間発達環境学研究科の清野准教授をお招きし、講師のこれまでの経験や日頃大学生と関わる中で感じる、地域や社会と関わる中での学びについて、お話しいただきます。阪神まち大学の活動だけでなく、これからの大学生活においても大切なポイントをお話しいただきます。



清野 未恵子 氏

神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 人間発達専攻 准教授博士（理学）

1980 年長崎県出身。鹿児島大学理学部卒、京都大学理学研究科で、ニホンザルやチンパンジーの生態に関する博士号を取得。丹波篠山チルドレンミュージアムに携わりつつ、神戸大学篠山フィールドステーションや神戸大学農学研究科地域連携センターに在籍し大学の地域連携を推進。篠山市農都政策官を経て、現職。野生動物管理、農山村、持続可能な社会づくり、ワークショップがキーワード。



第2回 11/21（土）18:30～20:30 場所：オンライン開催

【スキル編】

オンラインファシリテーション～オンラインミーティングの進行のコツ～

新型コロナウイルスの影響を受け、大学の授業や社会のミーティングなどはオンラインツールを使って行われるようになってきている。阪神まち大学でも、学生ミーティングなどはオンラインを基本として行うことを想定している。そこで、オンラインツールの特徴やオンラインミーティングにおける会議進行のコツなどを、演習を交えて学びます。



有廣 悠乃 氏

Irodori 代表

グラフィックファシリテーター

1991年広島県出身。立命館大学産業社会学部卒業。神戸大学大学院国際協力研究科博士課程前期課程修了。ワークショップデザインやファシリテーションの手法を学びながら、様々な年代を対象としたワークショップや事業の企画・運営に関わる。また、企業や行政などの会議や研修の現場にて、ファシリテーターやグラフィックレコーディングなどを行っている。現在、同大学院博士課程後期課程に在籍しつつ、関西を中心に活動。複数の大学で非常勤講師を務める。好きな言葉は「明るく楽しく朗らかに」。

第3回 11月28日（土）19:00～20:30 場所：オンライン開催

【スキル編】

プロモーション・人に伝わるスキル～伝える・伝わるを意識したプロモーションのコツ～

近年、SNSやYouTubeなどを使った情報発信が注目を集めています。手軽に誰でも始められるというメリットがあることもあり、新型コロナウイルスの影響下でさらにその動きは加速しています。阪神まち大学でもこうしたツールを使ったプロモーションを企画することを想定していることから、“伝えること”と“伝わること”を意識し、対象とする人に訴求するプロモーションのコツについて、広告代理店で実際に行われている事例を交えて学びます。。



加藤 彰 氏

日本ファシリテーション協会 フェロー

株式会社日本総合研究所 シニアマネージャー

1975年石川県出身。神戸大学文学部社会学科卒業。広告代理店において、メディアプランニングからプロモーション、WEB制作、クリエイティブまで実践した経験を生かし、コミュニケーション全体をディレクションしている。WEBサイトやCM、WEB動画の制作からキャンペーン構築、イベント、PRなど打ち手にとられない企画を多く実施。西宮市在住。

企業や行政、地域、商店街との協働プロジェクトを通じて、社会で必要な知識やスキル・仕事のノウハウを学ぶ！

企業、行政、商店街、地域と協働した協働プロジェクト / コース選択制

●対象・受講料

主に阪神地域の大学生・短期大学生 ※詳細は各コース参照

3,000 円/年 ※基礎講座+実践講座の料金。両方受講必須。

●実施期間

令和2年10月～令和3年3月

●学ぶこと

- ・企業や行政、地域、商店街との協働プロジェクトを行う中で、社会人から仕事のノウハウや知識、スキルを身に付ける。
- ・異なる大学・専攻の学生と企画から実施までをチームとして活動する中で、社会人として必要なチカラを身に付ける。

[チームビルディング/ファシリテーション力/コミュニケーション力/企画実行力
/プレゼンテーション力]

●概要

異なる大学・専攻の学生が4つのコースに分かれ、協働先から出される課題について、アドバイスを受けながら考えた企画を実社会で実践する。今年度はオンラインでの活動を基本とする。

●講座

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| ①商店街プロジェクトコース | (連携団体：西宮中央商店街振興組合) |
| ②日本酒プロモーションコース | (連携団体：辰馬本家酒造株式会社「白鹿」) |
| ③まちづくりプロジェクトコース | (連携団体：大庄地区子ども会連絡協議会) |
| ④イベントプロデュースコース | (連携団体：兵庫県阪神南県民センター) |
| ⑤【オプションメニュー】
西宮東高校アウトリーチ | (協働：西宮東高校) |

①商店街プロジェクトコース 阪神まち大学 × 西宮中央商店街振興組合

●ミッション

WEB や SNS といったツールを活用した商店街プロジェクト

～WEB や SNS といったツールを活用した商店街を知ってもらう企画を実践！～

●活動概要

西宮中央商店街との協働プロジェクト

■提供されたテーマ・課題

コロナ禍における地域商店街の新たな取り組みとして、学生ならではの視点で WEB や SNS といったツールを活用した商店街を知ってもらうイベント・PR を企画し、実際に実践します。

■活動内容（学生が担った部分）

新型コロナウイルス禍における商店街広報の一助として、新たな客層を獲得するために、「福男」で有名な西宮えびす神社に隣接する「西宮中央商店街」振興組合と、阪神まち大学に参加する阪神間の「大学生」がコラボして、商店街の魅力を幅広い年代が使用する YouTube で発信し広報活動を行う予定です。

内容は、西宮中央商店街振興組合所属の店舗を YouTube 上で PR する予定です。また、YouTube チャンネル「西宮中央商店街」を開設し、動画を公開する予定です。

11 月	コロナ禍でできる商店街 PR の方法を考える
12 月	西宮中央商店街 P R のための企画を提案
1-2 月	西宮中央商店街 P R のための企画を再提案・スケジュール確認
3 月	YouTube チャンネル「西宮中央商店街」を開設し、動画を公開（予定）

●ミーティング

日にち	時間	内容	場所
11 月 9 日(月)	20:00-21:30	オンラインミーティング	
11 月 12 日(木)	19:30-21:00	オンラインミーティング	
11 月 16 日(月)	19:30-21:00	オンラインミーティング	
12 月 1 日(火)	19:30-21:00	オンラインミーティング	
12 月 6 日(日)	19:30-21:00	オンラインミーティング	
12 月 8 日(火)	15:30-17:00	商店街とオンラインミーティング	
12 月 10 日(木)	19:30-21:00	オンラインミーティング	
12 月 12 日(土)	14:00-16:15	阪神つながり交流祭	武庫川女子大学
12 月 27 日(日)	19:30-21:00	オンラインミーティング	
1 月 14 日(木)	19:30-21:00	オンラインミーティング	
1 月 22 日(金)	13:00-14:30	オンラインミーティング	
1 月 29 日(金)	14:00-15:30	商店街とオンラインミーティング	
2 月 10 日(水)	20:00-21:30	オンラインミーティング	
2 月 22 日(月)	14:00-16:00	商店街とオンラインミーティング	
2 月 24 日(水)	18:30-20:00	オンラインミーティング	

※以降 3 月末まで活動予定

●活動の様子

»商店街との打ち合わせ



●ミッション

日本酒・白鹿ユーザーをつくるプロモーション企画

～白鹿の施設を活用した日本酒・白鹿ユーザー獲得企画を実践！～

●活動概要

辰馬本家酒造株式会社との協働プロジェクト

■提供されたテーマ・課題

若い日本酒（白鹿）ユーザーの獲得をめざし、白鹿の施設をフィールドにして、YouTube や SNS といった若者に訴求するツールを活用した企画を実践します。

※創業 350 年を超える日本酒の老舗蔵元との協働プロジェクトです。

■活動内容（学生が担った部分）

YouTube や SNS といった若者に訴求するツールを活用した日本酒・白鹿プロモーションイベント・PR 企画を実践します。

オンラインによる酒蔵ツアーに合わせて、謎解きを開催することにより、白鹿の施設に訪れる方、白鹿ファン（主に若者）を増やすことを目的とした内容とし、「白鹿の酒蔵行くしか～オンライン謎解きツアー～」を3月に実施予定です。

11-12 月	コロナ禍でできる日本酒・白鹿プロモーションイベント・PR 企画を考える
1 月	企画書作成・提案
2-3 月	実施に向けての準備
3 月	オンラインイベントの実施（予定）

●ミーティング

日にち	時間	内容	場所
11 月 5 日(木)	10:30-12:00	オンラインミーティング	辰馬本家酒造(株)
11 月 19 日(木)	11:30-13:00	企業訪問ミーティング	
11 月 23 日(月)	20:00-21:30	オンラインミーティング	
11 月 26 日(木)	10:00-11:30	オンラインミーティング	
11 月 28 日(土)	10:00-11:30	企業とオンラインミーティング	
12 月 2 日(水)	20:00-21:00	オンラインミーティング	武庫川女子大学
12 月 5 日(土)	10:00-11:30	オンラインミーティング	
12 月 12 日(土)	14:00-16:15	阪神つながり交流祭	
1 月 13 日(水)	19:00-21:00	オンラインミーティング	
1 月 15 日(金)	19:00-21:00	オンラインミーティング	
1 月 21 日(水)	20:00-21:00	オンラインミーティング	
1 月 31 日(日)	20:00-21:30	オンラインミーティング	
2 月 8 日(月)	20:00-21:30	オンラインミーティング	
2 月 16 日(火)	17:00-18:00	オンラインミーティング	

2月17日(水)	16:00-17:30	オンラインミーティング
2月19日(金)	20:30-22:00	オンラインミーティング
2月23日(火)	10:00-12:00	オンラインミーティング
2月24日(水)	17:00-18:00	オンラインミーティング
3月12日(金)		開催案内送付(予定)
3月13日(土)	19:00-20:30	オンラインイベント開催(予定)

●活動の様子

»会社訪問



»ミーティング



»イベントポスター



③まちづくりプロジェクトコース 阪神まち大学 × 大庄地区子ども会連絡協議会

●ミッション

コロナ禍における子どもが楽しめるイベント企画

～コロナ禍でも子どもが地域との関わりを持てるイベントを実践！～

●活動概要

大庄地区子ども会連絡協議会との協働プロジェクト

■提供されたテーマ・課題

コロナ禍で地域の子どもの会活動が制限されている中、子どもたちの交流や地域とのかかわりを持てるイベント（クリスマス会）を学生ならではの視点で企画し実践します。

※コミュニティが根付く地域との協働プロジェクト

■活動内容（学生が担った部分）

- ・コロナ対策を施した子どもが楽しめるクリスマス会（12/6（日））を実践する。
- ・子ども会の様子を知るために地域イベントに関わる（森の文化祭 11/8（日））。

コロナ禍において地域の子どもの会活動が制限されている中、対策を施しながら子どもたちに楽しんでもらえるようなクリスマス会を企画・実践することを目的として活動を行いました。

11 月	大庄地区の現状を知る、森の文化祭に参加
11-12 月	クリスマス会の企画・準備
12 月 6 日（土）	クリスマス会の開催

●活動結果

地域交流クリスマス会

日時 2020 年 12 月 6 日 10:00～11:30

場所 大庄北生涯学習プラザ

参加児童数：42 人

●ミーティング

日にち	時間	内容	場所
10 月 17 日（土）	19:00-21:00	子ども会連絡協議会理事会	大庄北生涯学習プラザ
11 月 3 日（火）	17:00-19:00	ミーティング	西宮市市民交流センター
11 月 4 日（水）	20:00-21:00	オンラインミーティング	
11 月 7 日（土）	14:00-17:30	森の文化祭 準備	尼崎の森中央緑地
11 月 8 日（日）	8:30-16:30	森の文化祭	尼崎の森中央緑地
11 月 13 日（金）	17:00-19:00	オンラインミーティング	

11月14日(土)	19:00-21:00	子ども会連絡協議会理事会	大庄北生涯学習プラザ
11月18日(水)	19:00-21:00	オンラインミーティング	
11月22日(日)	17:30-19:30	オンラインミーティング	
12月2日(水)	19:00-21:00	オンラインミーティング	
12月5日(土)	18:00-20:00	前日準備・リハーサル	大庄北生涯学習プラザ
12月6日(日)	8:45-12:00	クリスマス会	大庄北生涯学習プラザ
12月11日(金)	17:00-19:00	阪神つながり交流祭リハーサル	こみサポ
12月12日(土)	14:00-16:15	阪神つながり交流祭	武庫川女子大学

●活動の様子

»ミーティングの様子



»クリスマス会の様子





»森の文化祭の様子



●ミッション

「阪神つながり交流祭」のプロデュース
～兵庫県主催の大学生×地域連携を促進するイベントを実施！～

●活動概要

■提供されたテーマ・課題

大学が多く立地する阪神南地域の特徴である“大学生×地域連携”を、さらに推進するためのイベントをオンラインにより企画し実践します。

※大学生×地域連携の魅力を発信するプロジェクト

■活動内容（学生が担った部分）

12月12日（土）に、兵庫県阪神南県民センターが主催する「第11回 阪神つながり交流祭 2020 in 武庫川女子大学 and オンライン」の企画運営を行いました。

大学・大学生と地域が関わることの成果や課題を考え、コロナ禍での地域連携の在り方を探り、阪神地域の活性化に資するため、はじめに基調講演の山崎亮さんからまちづくりのヒントをいただき、その後に阪神地域の大学生が地域と連携する成果と課題を交えて発表してもらうという機会をつくることを目的に企画しました。初のオンライン開催のため、特にオンラインの時に気をつけることなどを、全員で話し合いながら実施しました。

イベント運営のノウハウについては、事業コーディネーターである NPO 法人コミュニティ事業支援ネットがレクチャーし、学生が主体的に事前準備からチラシ作成、広報、出演者調整、会場設営、当日運営まで、「阪神つながり交流祭」の全体運営を行いました。また、会場となった武庫川女子大学シェアードスタジオの機材提供によりオンライン開催が実現することができました。

11月	大学生と地域、あるいは大学生と企業が連携することの有用性を見いだせるように コロナ禍での地域連携の在り方を探りつつ、自分たち独自の目標を設定 全体のスケジュール作成、企画概要作成、チラシと配布計画作成 阪神南県民センターの職員の方と企画内容について協議
11-12月	広報開始・開催準備
12月12日（土）	「第11回 阪神つながり交流祭 2020 in 武庫川女子大学 and オンライン」開催
1-2月	振り返り、事業報告書のまとめ

●活動結果

「第 11 回 阪神つながり交流祭 2020 in 武庫川女子大学 and オンライン」の企画運営を実施

開催日時：2020 年 12 月 12 日（土）14：00～16：15

開催場所：武庫川女子大学 公江記念館 7F シェアードスタジオ

参加者：52 名（内オンライン参加者 22 名）

内訳：学生発表者 29 名(10 名)、関係者 16 名(5 名)、一般参加者 7 名(7 名)

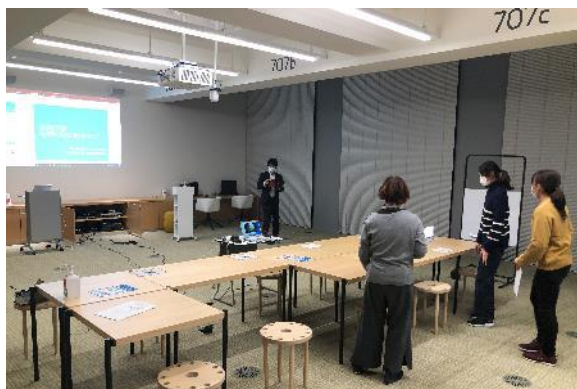
※（ ）内は、オンライン参加者数

●ミーティング

日にち	時間	内容	場所
11 月 6 日（金）	9:00-11:00	阪神南県民センターの方とオンラインミーティング	
11 月 10 日（火）	17:00-19:00	オンラインミーティング	
11 月 11 日（水）	19:30-21:00	オンラインミーティング	
11 月 18 日（水）	20:00-21:00	オンラインミーティング	
11 月 25 日（水）	19:00-21:00	オンラインミーティング	
11 月 27 日（金）	13:00-15:00	会場下見	武庫川女子大学
12 月 2 日（火）	18:00-20:00	オンラインミーティング	
12 月 5 日（土）	20:00-21:00	オンラインミーティング	
12 月 7 日（月）	20:00-21:00	オンラインミーティング	
12 月 9 日（水）	18:30-20:00	オンラインミーティング	
12 月 10 日（木）	20:00-21:00	前日準備	武庫川女子大学
12 月 12 日（土）	9:00-18:15	阪神つながり交流祭	武庫川女子大学

●阪神つながり交流祭

»準備設営



»基調講演



»開会式



»大学生による地域連携活動の発表



»オンラインディスカッション



»閉会式



»つながり交流祭のチラシ

**第11回
阪神つながり交流祭 2020**

＊武庫川女子大学経営学部シェアードスタジオから
オンライン (Zoom) 開催＊

《基調講演》
コミュニティデザイン
～大学生や地域が関心を高めるまちづくり～

《大学生による地域連携活動の発表》

関西学院大学	：栗田研究会
阪神まち大学	：商店街プロジェクトコース
阪神まち大学	：日本酒プロモーションコース
阪神まち大学	：まちづくりプロジェクトコース
園田学園女子大学	：地産食材によるストック eats プロジェクト
園田学園女子大学	：尼崎プロジェクト

※一般の方も Zoom によりご視聴いただけます

studio-L 代表 /
コミュニティデザイナー /
社会福祉士
山崎 亮 氏

12/12 (土)
14:00-16:15

※当日の模様は Zoom により
ご視聴いただけます
(無料・要申込)

《対象》
市民団体・NPO 等公益活動法人・
企業・商店主・大学関係者・大学生
など、地域活動に興味のある方

コロナ禍での新しい
人とのつながり方を考えよう

【主催】 つながり交流祭実行委員会
【共催】 兵庫県神戸市市民センター
【協力】 武庫川女子大学 経営学部
【中継・運営】 NPO 法人コミュニティ事業支援ネットワーク

●ミッション

高校生に向けたプレゼン

●活動概要

西宮東高校の授業の1コマを大学生が企画！高校生に向けて大学生からのメッセージをプレゼンします。

■提供されたテーマ・課題

“西宮学で学んだことは大学ではどのような学びに発展するか”をテーマに、西宮東高校の学生 40 名に向けた大学生によるプレゼンテーションの企画・運営

※まちづくりプロジェクトコース、イベントプロデュースコースのメンバーが中心となって企画します。

■活動内容（学生が担った部分）

“西宮学で学んだことは大学ではどのような学びに発展するか”という問いを前提とし、「西宮学（西宮東高校独自の学び）」と「阪神まち大学」の活動目的に共通点が見られることから、“阪神まち大学で学んだことはどのような学びに発展するか”という問いに対する答えを提示することをプレゼンの軸とした企画を考えました。また、私たちは提供されたテーマに沿って、高校生にとってわかりやすいプレゼンテーションを意識し実施をしました。

1 月	オンラインでのプレゼン内容を検討
1-2 月	アウトリーチの企画・準備
2 月 5 日（金）	アウトリーチの開催

●活動結果

西宮東高校アウトリーチ

日時 2021 年 2 月 5 日 14 : 20～15 : 25

場所 オンライン（Zoom）

参加生徒数：西宮東高校生 40 人

●ミーティング

日にち	時間	内容	場所
1 月 16 日（土）	16:00-17:00	オンラインミーティング	
1 月 18 日（月）	19:30-21:00	オンラインミーティング	
1 月 22 日（金）	19:00-20:30	オンラインミーティング	
1 月 25 日（月）	19:30-21:00	オンラインミーティング	
1 月 27 日（水）	13:00-14:00	東高校とのオンラインミーティング	
1 月 27 日（水）	15:00-16:30	オンラインミーティング	

2月3日(水)	15:00-16:30	オンラインミーティング
2月4日(木)	14:30-16:00	オンラインミーティング
2月5日(金)	10:00-12:00	リハーサル
2月5日(金)	14:20-15:25	オンライン開催

アウトリーチで使った PowerPoint（抜粋・順不同）

メンバー紹介

阪神まち大学まちづくりコース

兵庫県立大学
環境人間学部 環境人間学科 社会デザイン系 2回生
メディア・ディスコース研究をすすぜに所属しています。

→メディア(テレビ・雑誌・映画・絵本・インターネットなど)の研究、
ディスコース(言語や視覚的イメージ)の研究を通して社会問題の
背景や社会共生のためのコミュニケーションを考える研究です。

・サークル→ 防災ボランティアの学生団体
・中高の部活→ 書道部/文芸部



こぼやし まるな
小林 真留菜

阪神まち大学と西宮学の共通点

- 1.「協働性」 地域の問題に対し学生全員が意見を出し合い、解決策を皆で考える
- 2.「柔軟性」 課題に対して、様々な角度からアプローチ方法を探る
- 3.「表現性」 活動報告や話し合いで得られた気づきをまとめ、プレゼンテーションを通して相手に自分の意見を分かりやすく発信する
- 4.「論理性」 物事の因果関係を整理し順序立てて考える
- 5.「主体性」 課題に対して1人1人が責任感を持ち、問題の解決に向かおうとする

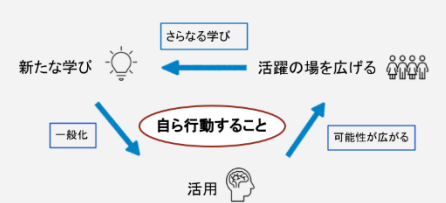
ワークについて

【ワーク】
① 高校生活で失敗したこと、気づいたことを具体的に書いてみましょう。また、その経験から学んだことを書き加えてください。
② 課題や授業中の気づきや疑問を具体的に書いてみましょう。
③ 課題や授業中の気づきや疑問を具体的に書いてみましょう。
④ 課題や授業中の気づきや疑問を具体的に書いてみましょう。
⑤ 課題や授業中の気づきや疑問を具体的に書いてみましょう。
⑥ 課題や授業中の気づきや疑問を具体的に書いてみましょう。
⑦ 課題や授業中の気づきや疑問を具体的に書いてみましょう。
⑧ 課題や授業中の気づきや疑問を具体的に書いてみましょう。
⑨ 課題や授業中の気づきや疑問を具体的に書いてみましょう。
⑩ 課題や授業中の気づきや疑問を具体的に書いてみましょう。

西宮学アウトリーチワークシートの、「高校生活で失敗したこと、気づいたことを具体的に書いてみましょう」の①と②の段間に、対し皆さんの意見を3分間で自由に記述してください。その後2分間隣の人と話してみよう。

みなさんが(はいいいえ)でどちらを選んだか手を挙げていただきます。また、具体的にどのような失敗を経験したかをどなたか2人に発表していただきます。

学びを活用することの重要性



新たな学び → さらなる学び → 活用 → 可能性が広がる

自ら行動すること

活用

可能性が広がる